

### 第3学年 組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年10月〇日第〇校時

場 所：3年〇組教室

指導者：担任・栄養教諭

#### 1. 題材

「歯によいおやつをえらぼう」

学級活動（2）エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

#### 2. 題材について

##### （1）児童の実態

元気で明るい学級である。給食後には全員で毎日歯磨きに取り組んでいる。曲に合わせて活動しているが、自分の歯をきれいにしようと自ら意識して磨いている児童が多いとはいえない。ポイントを示すと、やってみようと素直に取り組む姿がみられるが、継続することには弱さがある。おやつについては、「毎日・時々」を合わせると全員が食べており、間食を取る習慣があることが分かった。歯に良いおやつがあると考えている児童も1/3程度いるが、児童が好んで食べているおやつはスナック菓子やアイスなどの菓子類が上位を占めた。

##### （2）題材設定の理由

今回、「歯によいおやつ」を考えることで、おやつの種類によって食べかすが歯に残りやすいことに気付き、今までのおやつの食べ方について見直し、歯に良いおやつを選んだり自ら進んで歯磨きを行ったりと、健康な歯を保つためにできることを考える機会としたい。

学校栄養職員と連携を図り、実際におやつに選ばれている物を食べて考えることにより、歯に残らないものを選ぼうとする意欲を高め、実践化を図れるようにしたい。

#### 3. 第3学年及び第4学年の評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

#### 4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・アンケートに記入する。	・日頃食べているおやつについて関心を持ち、虫歯になりにくいおやつの種類や食べ方について考え	・アンケートを記入し、これまでのおやつの食べ方について考えることができている。(思考・判断・表現)

	るよう知らせる。	【アンケート】
タマゴの殻を使った実験で、むし歯になるメカニズムを知る。	食べかすの中でも、特に砂糖がミュータンス菌の働きを活発にさせることを理解させる。	実験結果から、食べかすが長時間に渡って口の中にあるとむし歯になりやすことが分かる。(知識・技能)

## 5. 本時のねらい

リンゴとクッキーを食べ比べることを通して、①甘いか（糖分が多い）②食べかすが歯に残るかという2つの観点から『歯によいおやつ』と『歯によくないおやつ』を分けることができることに気づき、自分たちの食べているおやつについて見直し、望ましいおやつの摂り方を考え、実践しようとする事ができる。

## 6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (学校栄養士)		
導入 つかむ	1 むし歯ができるわけについて思い出し、むし歯にならないためには、食べかすを残さないことが大切であることを確認する。 2 おやつについての事前アンケート結果を見て、気付いたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージしやすいように、事前指導で使って「歯」「糖分」「細菌」カードを掲示する。</li> <li>アンケート結果から、学級全体の課題としてだけでなく、自分の課題としてとらえることができるようにする。</li> </ul>		「歯」「糖分」「細菌」カード  アンケート結果の集計	
展開 さぐる 見つける	3 リンゴとクッキーを食べ比べ、歯に良いおやつについて考える視点をもつ。 4 みんなの食べているおやつを、さっぱりした『歯によいおやつ』と砂糖が入っていて歯に残る『歯によくないおやつ』	歯にいいおやつを えらぼう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>切り分けたリンゴとクッキーを配布する。</li> <li>歯に良いおやつを考えていなかった児童や、考えていたが視点が違っていた児童など、アンケート結果から意図的に指名する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べる前に予想させておく。</li> <li>食べた後に手鏡で自分の歯の様子を観察させることで、どちらが歯に良いおやつといえるか理由を話させる。</li> <li>ペアで協力して考えられるよう、分け方の手順を説明する。</li> <li>迷ったり、決められなかったりするときは、そのまま残しておいてよいことを伝える。</li> </ul>	学習カード  絵カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯に良いおやつについて、口の中に残る食べかすと虫歯との関連について理解している。(知識・技能)</li> </ul> 【発言・学習カード】

	とに分けてみる。				
終末決める	<p>5 答え合わせをして、迷ったものについて交流する。</p> <p>6 今日の学習から、自分のめあてや実践方法を決める。</p>	<p>&lt;歯にいい&gt;</p> <p>リンゴ 果物 キシリトール スルメ 小魚・ナッツ</p> <p>・自分の課題に合った具体的なめあてや実践方法を決めて学習カードに記入するようにする。</p> <p>・何人かに発表してもらい、めあての修正や実践の参考にできるようにする。</p> <p>・1週間程度実施し、自己評価できるようにする。</p>	<p>&lt;歯によくない&gt;</p> <p>クッキー チョコ ガム スナック菓子 アイス</p> <p>・机間指導を行い、必要に応じて、具体性のあめあてや実践方法が設定できるよう助言を行う。</p>	学習カード	<p>・①甘いか②歯に残るかの2段階で考えることで、日頃食べているおやつを分けることができる。(思考・判断・表現) 【学習カード, 発言】</p> <p>・自分の課題に合った具体的なめあてや食べ方を決めている。(思考・判断・表現) 【学習カード, 観察, 発言】</p>

## 7. 事後の指導

関連する教科・・・理科「チョウを育てよう」・保健 けんこうな生活「体のせいけつとけんこう」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>・自分の立てためあてや取組などについて振り返る。</p> <p>・仲間同士で取組を確認し合う。</p>	<p>・おやつの選び方やよりよい食べ方について考えるように知らせる。</p> <p>・帰りの会などを利用して、仲間同士で取組を確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図るようにする。</p>	<p>・仲間の意見を参考にしながら、どのように生活に生かしていきたいのかを考えて立てた具体的なめあてや実践方法に、進んで取り組んでいる。(思考・判断・表現) 【めあてカード・観察】</p>

\*指導内容を学年通信に記載し、家庭においても同じように指導していただくよう依頼する。